

令和9(2027)年度

一宮研伸大学大学院
看護学研究科 看護学専攻
博士前期課程・博士後期課程

学生募集要項



学校法人 研伸学園

一宮研伸大学大学院

目 次

令和9(2027)年度 博士前期課程・博士後期課程入学者選抜 試験日程	1
---	---

博士前期課程

育成する人材像・3つのポリシー	2
入学定員・出願資格	3
出願手続・出願書類	5
出願資格審査	9
選抜方法・試験日	10
合格発表・入学手続	11
学納金の納入	12
領域の概要及び研究指導教員一覧	13

博士後期課程

育成する人材像・3つのポリシー	17
入学定員・出願資格	18
出願手続・出願書類	19
出願資格審査	21
選抜方法・試験日	23
合格発表・入学手続	24
学納金の納入	25
領域の概要及び研究指導教員一覧	26

試験会場のご案内

個人情報の取り扱いについて

入学出願書類等の個人情報については、本学に定める「個人情報保護に関する規程」を遵守し、次のとおり取り扱います。

- ①出願書類等に記載された個人情報（氏名・性別・生年月日・住所・電話番号等）は、本学の入学試験実施と入学手続等においてのみ利用し、責任をもって管理・保管します。
- ②個人情報の一部又は全部を個人が特定できない形に加工したうえで、本学における入学者選抜に関する調査及び広報活動等の業務に利用する場合があります。

※ 本学における上記の個人情報に関する取り扱いについて、本学への出願書類到着をもって、当該志願者の同意を得たものとみなしますので、ご了承ください。

令和9(2027)年度 博士前期課程・博士後期課程入学者選抜 試験日程

選抜時期		1期選抜	2期選抜	3期選抜
入試区分 入学定員	前期	一般選抜・社会人選抜・社会人特別選抜1～3期：計5名 推薦選抜（1期のみ）：1名		
	後期	一般選抜 1～3期：2名		
選抜方法	前期	一般選抜	： 専門科目・小論文・面接試験	
		社会人選抜	： 専門科目・小論文・面接試験	
		社会人特別選抜	： 小論文・面接試験	
		推薦選抜	： 小論文・面接試験	
	後期	一般選抜	： 学力試験（英語）・面接試験	
出願資格審査 受付期間 (出願資格9の 出願者のみ)	令和8年8月17日(月)	令和8年10月30日(金)	令和9年1月12日(火)	
	令和8年8月24日(月)	令和8年11月6日(金)	令和9年1月25日(月)	
出願期間	令和8年9月1日(火)	令和8年11月30日(月)	令和9年2月15日(月)	
	令和8年9月17日(木)	令和8年12月7日(月)	令和9年3月1日(月)	
試験日	令和8年9月26日(土)	令和8年12月12日(土)	令和9年3月6日(土)	
合格発表	令和8年10月2日(金) 10:00	令和8年12月17日(木) 10:00	令和9年3月9日(火) 10:00	
学納金 納入期限	令和8年10月13日(火) 16:00	令和8年12月23日(水) 16:00	令和9年3月16日(火) 16:00	

■出願・入学手続についての注意事項

- ・事前に、論文指導を希望する専門領域を定め、指導を受けようとする教員と必ず面談を行ってから、出願してください。
- ・書類を持参する場合は、月～金曜日（祝日を除く）9:00-16:00に、事務局入試広報係へ提出してください。
- ・期間最終日に郵送する場合は、郵便局窓口にて「引受消印」を押してもらおうよう、申し出てください。
- ・定員充足状況により、2期以降に募集しない分野・領域がある場合があります。その場合は、本学ホームページでお知らせします。

育成する人材像・3つのポリシー

育成する人材像

人権尊重と擁護を根幹とした倫理観及び科学的根拠に裏付けされた看護学の幅広い知識と看護実践力を身に付け、リーダーシップ・マネジメント力及び研究・教育能力を有し、看護実践における課題の解決や看護学の発展に寄与することができる人材

3つのポリシー

【アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）】

ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーの目標・内容を踏まえ、以下の基本的知識、関心や態度を身に付けている者を受け入れる。

1. 倫理的配慮を踏まえた看護実践の基礎を身につけている人
2. 保健医療チームの一員として、多職種と連携して協働することができる人
3. 看護職として社会貢献を志向し、主体的に生涯学習に取り組む意欲のある人
4. 保健医療に関する問題意識を有し、看護研究に取り組む意欲のある人

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）】

本研究科では、所定の単位を修得し、修士論文の論文審査および最終試験に合格し、以下の能力を身につけた者に対して修士（看護学）の学位を授与する。

1. 人間としての尊厳と権利を尊重した倫理観に基づき、看護学の幅広い知識と科学的根拠に裏付けされた看護を実践する能力を有する
2. 保健医療チームの一員として多職種と連携・協働し、リーダーシップを発揮する能力を有する
3. ヘルスケアシステムの変革に対応し、組織を管理運営できるマネジメント能力を有する
4. 地域や臨床現場が抱える、多様な看護実践上の課題解決に向けた研究能力を有する
5. 看護専門職を育てる教育的志向を有し、看護学の発展に寄与できる教育能力を有する

【カリキュラム・ポリシー（カリキュラム編成方針）】

本研究科は、ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を身につけるため、以下の方針でカリキュラムを編成する。

〈教育課程編成方針〉

すべての専門性の基礎となる共通科目を1年次に配置し、あわせて各専門分野・領域の専門性を向上させるための専門科目を1年次に配置する。それらを修得しながら専門性をさらに探究する研究科目を1年次後期から2年次に配置する。

専門科目は、“地域創成ケアシステム”と“地域生活創成看護”の2分野で構成する。“地域創成ケアシステム”分野は、「看護マネジメント学」「看護科学」の2領域からなり、“地域生活創成看護”分野は「次世代育成看護学」「急性・療養生活支援看護学」「メンタルヘルス支援看護学」「がん療養生活支援看護学」の4領域からなる。各領域に「特論Ⅰ～Ⅱ」「演習」を配置する。

1. 地域社会の多様なヘルスケアニーズに応じて、倫理観や科学的根拠に基づく看護実践をするための知識を構築する科目として「看護倫理」「死生学」「看護理論」「フィジカルアセスメント」各領域の「特論Ⅰ～Ⅱ」「演習」などを配置する
2. 保健医療チームの一員として多職種と連携・協働し、リーダーシップを発揮する際に必要な知識やスキルを身に付ける科目として「地域創成ケアシステム論」「コンサルテーション論」などを配置する
3. ヘルスケアシステムの変革を理解し、必要とされるマネジメント能力を培うための科目として「看護管理論」「看護マネジメント学特論Ⅰ～Ⅱ」などを配置する
4. 地域や臨床現場が抱える多様な課題を的確に把握し、課題解決に結びつく研究能力を培う科目として「看護研究法Ⅰ～Ⅱ」「医療英語特論」「看護学特別研究」を配置する
5. 看護専門職の後進育成のため、学習者のニーズにあった教育方法や教育的関わりに必要な科目として「看護教育論」「看護科学特論Ⅰ～Ⅱ」などを配置する

〈実施方針〉

各授業科目にはアクティブラーニングやシミュレーション教育、地域でのフィールドワークを積極的に導入する。

〈評価方針〉

学修成果は、到達目標・評価方法等を事前にシラバスに明示し、定期試験や課題レポート、プレゼンテーションの内容等により総合的に評価・判断する。

入学定員・出願資格

1. 教育研究分野・領域及び入学定員

分野	領域	入学定員
地域創成ケアシステム	看護マネジメント学	6名
	看護科学	
地域生活創成看護	次世代育成看護学	
	急性・療養生活支援看護学	
	メンタルヘルス支援看護学	
	がん療養生活支援看護学（がん看護 CNS を含む）	

2. 出願資格

選抜区分	出願資格の概要	入学定員
一般選抜	出願資格1)～9)のいずれかに該当し、かつ入学時に日本の看護師資格を有する者	計5名
社会人選抜	一般選抜の出願資格を満たし、かつ医療・保健・福祉施設、教育研究機関、官公庁、企業などの職員として勤務しており、入学後もその身分を保持し、在職のまま就学する予定の者	
社会人特別選抜	社会人選抜の出願資格を満たし、かつ出願に際し所属機関の長（病院長等）から大学院の受験及び在職のまま就学することについて推薦を得た者	
推薦選抜	<ul style="list-style-type: none"> ① 一宮研伸大学看護学部にて在学し、令和9年3月31日までに卒業見込みの者 ② 本学在学中3年次後期までの通算成績GPAが2.8以上の者 ③ 専門領域の教授又は准教授より推薦がある者 ④ 合格後は入学を確約できる者 	1名

【博士前期課程 出願資格】

次の1)～9)のいずれかに該当し、かつ入学時に日本の看護師資格を有する者

- 1) 大学を卒業した者及び入学時までに卒業見込みの者
- 2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び入学時までに授与される見込みの者
- 3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び入学時までに修了見込みの者
- 4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者及び入学時までに修了見込みの者
- 5) 文部科学大臣指定外国大学日本校を修了した者及び入学時までに修了見込みの者
- 6) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び入学時までに授与される見込みの者
- 7) 指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者及び入学時までに修了見込みの者
- 8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- 9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた22歳以上の者及び入学時までに22歳に達する者

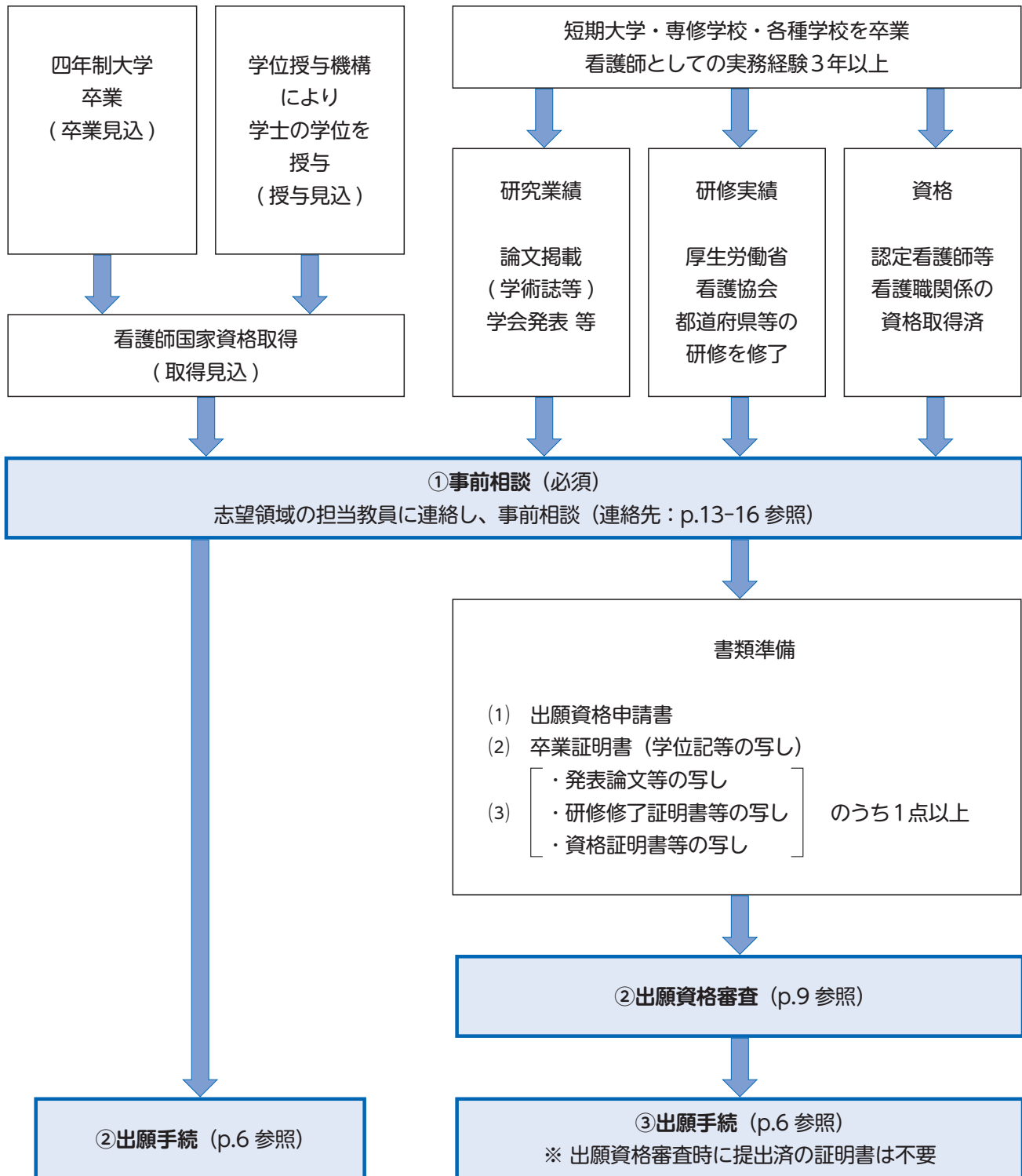
※ がん看護 CNS（専門看護師）の資格取得を希望する場合、入学時に3年相当以上の専門領域の実務経験を有している必要があります。

※ 出願資格9)により出願する者は、出願に先立ち「出願資格審査」を受け、「出願資格認定書」を提出する必要があります。

※ 外国人留学生等の場合は、日本語能力試験N2レベル以上を求めます（授業は日本語で行います）。

出願手続・出願書類

1. 出願資格・出願手続確認フローチャート



※ 提出書類・手続等についての詳細は、p.7以降を参照してください。

2. 出願書類

本学ホームページから、「入学検定料振込用紙」及び様式1～5をダウンロードして、書類を作成してください。なお、提出が必要な書類は、出願区分により異なります。

出願書類の種類	提出書類及び作成要領	
① 入学志願票・ 受験票・写真票 (様式1)	出願期間に「入学検定料振込用紙」で入学検定料を支払い、両面印刷した様式1の裏面にB票を貼付のうえ、表面に必要事項を記入してください。 写真2枚(タテ4cm×ヨコ3cm、3ヶ月以内に撮影、正面、無帽)を用意し、写真の裏面に氏名を記入のうえ、入学志願票及び受験票に貼付してください。	
② 履歴書(様式2)	本学ホームページから様式をダウンロードして作成してください。	
③ 志望理由書(様式3)		
④ 証明書 ※選抜区分・出願資格によって、必要書類が異なります ※出願資格については、p.7参照	出願資格1)の場合 (A及びB)	A 大学の卒業証明書(学位記の写し(A4判)でも可)又は卒業見込み証明書 B 成績証明書
	出願資格2)の場合 (ア又はイ)	ア 既に学位授与機構から学位を授与された者: 学位授与証明書及び学位授与の対象となった専攻に係る授業科目の単位認定を行った機関の単位修得証明書 イ 既に学位授与機構に対して認定修了を申請している者: 学位授与申請受理証明書及び学位授与の対象となる専攻に係る授業科目の単位認定を行った機関の単位修得証明書
	出願資格3)～7)の場合 (A及びB)	A 最終教育機関の修了証明書/卒業証明書(学位記等の写し(A4判)でも可) 又は修了見込み証明書/卒業見込み証明書 B 成績証明書
	出願資格8)の場合	入試広報係へお問い合わせください
	出願資格9)の場合	出願資格審査後に受領した出願資格認定書の写し
	本学園卒業生で最終学歴が他学の場合	大雄会一宮看護専門学校又は愛知きわみ看護短期大学の卒業証明書(卒業証書又は学位記の写し(A4判)でも可)
	推薦選抜の場合	大学の卒業見込み証明書及び成績証明書
⑤ 看護師免許の写し	A4判に縮小してください。看護師国家試験受験予定者は提出不要です。	
⑥ 受験・就学承諾書 (様式4)	社会人選抜又は社会人特別選抜により受験する場合は、本学ホームページから様式をダウンロードし、所属機関の長に作成を依頼し、提出してください。	
⑦ 推薦書 (様式5の1・2)	社会人特別選抜又は推薦選抜により受験する場合は、本学ホームページから様式をダウンロードし、専門領域の教授又は准教授、あるいは所属機関の長に作成を依頼し、提出してください。	
⑧ 受験票返信用切手	410円分の切手(定形110円+速達300円)	

- ※ 様式への記載には、温度変化等で消えないボールペン等を使用してください。
- ※ 証明書等と現在の氏名や性別が異なっている場合は、戸籍一部事項証明書または戸籍抄本を添付してください。
- ※ 出願資格審査受審時に本学へ提出済の証明書については、再度提出する必要はありません。
- ※ 出願書類に不備がある場合は、受付後であってもこれを受理しません。
- ※ 出願書類に虚偽の記載がある場合は、出願許可の後でもこれを取り消します。
- ※ 提出した書類は、いかなる事由があっても返還しません。

【様式見本】

様式は本学ホームページからダウンロードしてください。
右のQRコードからもアクセスできます。



様式1 入学志願票(両面印刷)

様式2 履歴書(両面印刷)

様式3 志望理由書(両面印刷)

様式4 就学承諾書

様式5-1 推薦書(社会人特別選抜)

様式5-2 推薦書

様式6 出願資格審査申請書(両面印刷)

入学検定料振込用紙

封筒貼付宛名シート

3. 出願手続

出願書類を一括して、出願期間内に郵送又は本学事務局窓口へ持参してください。

選抜時期	出 願 期 間
1期	令和8年 9月 1日(火)～令和8年 9月17日(木)
2期	令和8年11月30日(月)～令和8年12月 7日(月)
3期	令和9年 2月15日(月)～令和9年 3月 1日(月)

- ※ 出願期間内に出願を完了しない場合は、受験する権利を失います。
- ※ 一度納付した検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ※ 郵送の場合は、レターパックプラスまたは速達簡易書留郵便にて、表面に「大学院出願書類」と明記して郵送してください。
- ※ 出願期間最終日に発送する場合は、郵便局窓口にて「引受消印」を押してもらおうよう、申し出てください。
- ※ 持参の場合は、本要項の裏表紙【郵送・提出窓口及び問い合わせ先】の窓口時間内に持参してください。

4. 入学検定料

30,000円

■金融機関窓口で振り込む場合

- ・本学ホームページから「入学検定料振込用紙(博士前期課程)」をダウンロードして必要事項を記入し、検定料を添えて金融機関窓口(ATMは不可)で納付してください。納付した際に受け取ったB票・C票のうちB票を、様式1「入学志願票」の裏面にはがれないように貼付してください。

■インターネットバンキングを利用して振り込む場合

- ・本学ホームページから「入学検定料振込用紙(博士前期課程)」をダウンロードして、「願書貼付用B票」に必要事項を記入し、入学志願票裏面に貼付してください。
- ・振込用紙記載の口座宛に、振込依頼人名を「M 受験者氏名」(記入例:M 伊/ミヤザミ)に変更して、納付してください。
- ・振込完了画面のスクリーンショットをA4用紙に印刷し、入学志願票とともに提出してください。

※一度納付された検定料は、いかなる事由があっても返還しません。

※本学事務局窓口で検定料の納付はできません。

5. 出願に際しての事前相談

出願を希望する方は、出願前に必ず志望する領域の担当教員に連絡をとり、入学後の研究及び履修について『事前相談』を行ってください。

電話・E-mailでの相談も可能です。お気軽にお問い合わせください。

(参照:p. 13-16 領域の概要及び研究指導者連絡先)

■身体に障がい等を有する入学志願者との事前相談

障がい等を有する等、受験上及び就学上の配慮を要する場合は、出願前に必ず本学入試広報係にご連絡ください。

なお、この相談が合否判定に影響することは一切ありません。

相談の時期：出願期間最終日の2週間前まで

出願資格審査

1. 出願資格審査受付期間

出願資格9)により出願する場合は、出願資格審査期間内に「出願資格審査」を申請する必要があります。出願資格審査において本学が「出願資格あり」と認定した場合にのみ、出願することができます。

選抜時期	出願資格審査受付期間
1期	令和8年 8月17日(月)～令和8年 8月24日(月)
2期	令和8年10月30日(金)～令和8年11月6日(金)
3期	令和9年 1月12日(火)～令和9年 1月25日(月)

2. 出願資格審査の申請要件

下記①の要件を満たし、さらに②～④のいずれかに該当する者が出願資格審査の対象となります。

- ① 短期大学・専修学校又は各種学校を卒業し、看護師の資格を有し、3年以上の実務経験があること
- ② 研究業績（学術誌や専門誌等での論文掲載・学会発表等）を有している
- ③ 厚生労働省、看護協会、都道府県又はそれと同等の機関による研修を修了している
- ④ 認定看護師等の看護職に関わる資格を有している

3. 提出書類

	提出書類の種類
必須	出願資格審査申請書（様式6）※
	専修学校又は短期大学等の卒業証明書 （卒業証書又は学位記の写し（A4判）でも可） 看護師免許の写し（A4判）
上記②該当者	発表論文等の写し
上記③該当者	各機関が発行する研修修了の証明書の写し
上記④該当者	認定看護師等の証明書の写し

※ 本学ホームページから様式をダウンロードして作成してください。

4. 審査方法及び審査結果

提出された書類により審査を行い、結果は郵送で通知します。出願資格が認められた場合は、出願資格認定書を送付します。

5. 申請手続き

3の提出書類を一括して、本学入試広報係宛に郵送（簡易書留郵便又はレターパックプラス）、又は事務局窓口へ提出してください（封筒の表面に「出願資格審査書類」と朱書きしてください）。

- ※ 申請書類に不備がある場合は、受付後であっても、これを受理しません。
- ※ 提出した書類は、いかなる事由があっても返還しません。
- ※ 証明書等と現在の氏名や性別が異なっている場合は、戸籍抄本を添付してください。

選抜方法・試験日

1. 入学者選抜方法

入学者選抜は以下の方法で行い、合格者を決定します。

	小論文	専門科目	面接
一般選抜	100点	100点	100点
社会人選抜	100点	100点	100点
社会人特別選抜	100点		100点
推薦選抜	100点		100点

2. 入学者選抜日程

選抜時期	項目	試験日	試験会場
1期	選抜試験日	令和8年 9月 26日(土)	本学
	合格発表	令和8年 10月 2日(金) 10:00	
2期	選抜試験日	令和8年 12月 12日(土)	
	合格発表	令和8年 12月 17日(木) 10:00	
3期	選抜試験日	令和9年 3月 6日(土)	
	合格発表	令和9年 3月 9日(火) 10:00	

※合格者の定員充足状況により、2期以降に募集しない分野・領域がある場合があります。
その場合は、本学ホームページでお知らせします。

3. 選抜当日のタイムテーブル

時間	科目	
	一般選抜・社会人選抜	社会人特別選抜・推薦選抜
8:40 ~ 9:00	オリエンテーション	オリエンテーション
9:00 ~ 10:00	小論文	小論文
10:30 ~ 11:30	専門科目	面接
11:45 ~	面接	

合格発表・入学手続

1. 合格発表

合格者には合格通知書を送付します。

本学ホームページでも合格者の受験番号を確認できますが、合格通知書をもって正式な合格の通知とします。

- ※ 本学での掲示発表は行いません。
- ※ 電話等による合否結果に関する問い合わせには、一切応じません。

2. 入学手続

合格者には合格通知書とともに入学手続要項を送付します。確認のうえ、以下の学納金納入期限までに入学金及び前期学納金を払い込み、入学手続要項にしたがって入学手続きを済ませてください。

選 抜 時 期	学 納 金 納 入 期 限
1 期	令和 8 年 10 月 13 日 (火) 16 : 00
2 期	令和 8 年 12 月 23 日 (水) 16 : 00
3 期	令和 9 年 3 月 16 日 (火) 16 : 00

- ※ 入学手続期限までに入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を失います。
- ※ 一度納付した入学金は、いかなる理由があっても返還しません。

3. 入学前オリエンテーション

入学予定者に対して、以下の日程で入学前オリエンテーションを開催します。

開 催 日	令和 9 年 3 月 12 日 (金) 13 : 00 開始
-------	----------------------------------

4. 入学後の予定

日 程	行 事
4 月 2 日 (金)	入学式 10 : 00 ~ 11 : 00
	ガイダンス 11 : 00 ~ 13 : 00
4 月 6 日 (火)	健康診断 13 : 00 ~ 16 : 00 < 該当者のみ >
4 月 8 日 (木) ~	前期授業開始 開講曜日は領域別に異なります。

- ※ 4 月の土曜開講予定 : 4 月 10 日、17 日、24 日 5 月 8 日 ~ 7 月中頃までほぼ毎週継続開講
- ※ 詳細は、入学前オリエンテーションにてお知らせします。

学納金の納入

1. 学納金

区 分	1年次		2年次	
	前期 (入学手続時納入)	後期	前期	後期
入 学 金	150,000円			
授 業 料	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円
教育充実費	100,000円	100,000円	100,000円	100,000円
合 計	650,000円	500,000円	500,000円	500,000円
2年間合計	2,150,000円			

長期履修（3年間）の場合の学納金

区 分	1年次		2年次		3年次	
	前期 (入学手続時納入)	後期	前期	後期	前期	後期
入 学 金	150,000円					
授 業 料	400,000円	400,000円	200,000円	200,000円	200,000円	200,000円
教育充実費	100,000円	100,000円	50,000円	50,000円	50,000円	50,000円
合 計	650,000円	500,000円	250,000円	250,000円	250,000円	250,000円
3年間合計	2,150,000円					

2. 学納金に関する留意事項

1) 実験実習費について

がん看護専門看護師認定審査受験資格を取得する場合には、実習等にかかる経費が追加で必要となります。

2) 入学金の免除について

以下の場合については、入学金の全額又は半額を免除します。

- ・本学学部生が卒業後直ちに大学院を志願する場合：入学金全額免除
- ・本学園の卒業生が大学院博士前期課程に入学する場合：入学金半額免除
(大雄会一宮看護専門学校、愛知さわみ看護短期大学、一宮研伸大学)

※本学園の卒業を確認できる証明書等 (p.6 出願書類④参照) を、出願時に提出してください。

領域の概要及び研究指導者連絡先

TEL:0586-28-8110

博士前期課程

領域の概要及び研究指導者連絡先

分野	専攻領域	研究指導教員・連絡先	主な研究テーマ
地域創成ケアシステム	看護マネジメント学 (認定看護管理者の受験取得可能)	大久保 清子 k.ohkubo.t@ikc.ac.jp	地域創成に必要なケアシステムのマネジメント及び組織変革や人材育成・リーダーシップに関する研究
		メッセージ	組織や臨床において、どう取り組み変革すると活性化するのか。どう人材を育成していくのか等。多くの知識を吸収し、さまざまな疑問を明らかにすることで、モチベーションとレベルアップをはかりましょう。
		鈴江 智恵 t.suzue.t@ikc.ac.jp	看護マネジメントや看護職のキャリア発達支援に関する研究
		メッセージ	看護職のそれぞれが力を発揮して、現場でいきいきと働くことができるためにどんな工夫があるのか、実践の場で活かせるよう共に考え、学びあいましょう。
		西谷 直子 n.nishitani.t@ikc.ac.jp	人々の生活習慣、職場ストレス、疾病リスクなどの関連を調べ、疾病発症の低減に向けて行動変容を促す研究
	メッセージ	あらゆる年代の人々が、保健行動を継続してその人らしい生活が実現できるよう、看護において論理的で科学的な視点で研究を実施し、実践での疑問や課題を解決していけるよう、知識や技術を身につけましょう。	
	看護科学 (看護師養成所専任教員資格取得に必要な科目の履修が可能)	石井 成郎 n.ishii.t@ikc.ac.jp	看護におけるインストラクショナルデザイン、教育・学習成果の評価やICTを活用した学修支援に関する研究
		メッセージ	科学的根拠に基づいた効果的な教育の実現に向けて、教育方法やその評価方法を実践的に学修します。研究を通して、病院や学校などの教育場面に役立つ知識・スキルを身につけていきましょう。
		櫻井 武 t.sakurai.t@ikc.ac.jp	看護や介護でどのようにデジタルテクノロジーを利用して業務の質の向上に利用していくか、についての研究
		メッセージ	臨床現場で頭に浮かんだ疑問や目につく問題について、それらをまず分析し要素的な問いに分解、その要素にどうアプローチすればどこまで解決できるか、さらなる解決を進めるにはどういったことが必要となり、そのためにはなにをしなければならぬか、を科学的に皆さんと一緒に考えることを目指します。
佐々木 久美子 k.sasaki.t@ikc.ac.jp		術後回復を促進する看護ケア（清拭・早期離床）の開発と評価、看護実践・教育方法の研究	
メッセージ	臨床の「なぜ？」を大切に、看護実践に関する問いを一緒に探究します。課題設定を重視し、文献検討や研究計画の立案を通して、実践に根ざした研究をともに進めていきます。		

分野	専攻領域	研究指導教員・連絡先	主な研究テーマ
地域創成ケアシステム	看護科学 (看護師養成所専任教員資格取得に必要な科目の履修が可能) 主に、①卓越した看護アセスメントの技術開発、②科学的・論理的根拠に基づく看護ケアに関する教育プログラムの開発・検証等について探求する。	滝沢 美世志 m.takizawa.t@ikc.ac.jp	道徳的（倫理的）感受性、および看護倫理教育に関する研究
		メッセージ	よりよい看護実践に向けて倫理的・道徳的な問題に気づく力が求められます。その気づきを研究へと育て、対話を重ねながら共に看護の知を深めていきましょう。
		伊東 裕康 h.ito.t@ikc.ac.jp	看護実践における対人感情を進化心理学的観点から分析する研究
		メッセージ	看護実践において生じる感情を生物進化のプロセスから分析し、その適応的意義を明らかにします。「なぜその感情が発生するのか」というルーツを紐解くことで、生物学的な理にかなった対処法を共に模索していきましょう。
地域生活創成看護	次世代育成看護学 主に①性と生殖に関わる保健、周産期の家族の健康、親子・家族関係の支援における課題、②子どもと子を産み育てる家族のもつ主要な健康問題等について、有効な看護支援方法論を探究する。	小島 徳子 t.kojima.t@ikc.ac.jp	周産期にある女性とその家族の支援に関する研究、乳汁分泌促進への支援に関する研究、助産学教育・実習に関する研究
		メッセージ	クリティカルシンキングを養い、鍛えるために論文抄読を行います。多角的に捉える視点を持ち、『そんな思考もあったのか！』と周囲を驚かせるアイデアを、ともに創り出していきたいでしょう。
		河村 江里子 e.kawamura.t@ikc.ac.jp	スペシャルケアニーズのある子どもの両親・ハイリスク妊婦の親性発達に関する研究
	メッセージ	次世代を担う子どもと家族の健康は、ケアの原点です。持続可能な社会を築く周産期からの切れ目ない支援や親子関係の課題に向き合い、健やかな育ちを支える看護支援を共に探究しましょう。	
	急性・療養生活支援看護学 慢性の健康課題を有する人と家族への療養生活支援の在り方や必要な看護、課題について探究する。	東野 督子 t.higasino.t@ikc.ac.jp	急性・療養生活を送る健康課題をもつ人と家族の看護に関する研究、教育に関する研究
		メッセージ	急性・療養生活を送る健康課題をもつ人への日々の看護実践（病院、地域、在宅等）の中で、忘れ難い患者さんやご家族との看護場面や、疑問に思ったこと等を、研究を通して一緒に考えていきたいと思います。
小澤 直樹 n.ozawa.t@ikc.ac.jp		慢性疾患（主に糖尿病）における病気の不確かさに関する研究や、セルフマネジメントに関する研究	
メッセージ	慢性の健康課題を持ちながら生活する方とその家族への看護支援について、共に探求していきましょう。そして、新たな知見を開拓していく研究のやりがいや楽しさを味わいながら、オリジナル且つ科学的な看護を創造していきましょう。		

分野	専攻領域	研究指導教員・連絡先	主な研究テーマ
地域生活創成看護	メンタルヘルス支援看護学 地域に暮らす認知症高齢者と家族へのケアマネジメントのあり方、及びメンタルヘルスに問題を抱える人を支援するためのヘルスケアシステムの現状や地域特有の課題を探究する。	野村 千文 c.nomura.t@ikc.ac.jp	高齢者及び認知症高齢者とその家族・介護者への地域におけるケアシステム開発に関する研究
		メッセージ	学際的な知見をもとに高齢者への理解を深め、健康寿命の延伸や認知症予防の観点から、当事者ならびに家族へのケアシステムのあり方について一緒に探究しましょう。
		江本 厚子 a.emoto.t@ikc.ac.jp	高齢者の生活支援に関する実証的研究、排泄ケアシステムの構築に関する研究
		メッセージ	高齢者が疾病や障がいを持ちながらその人らしい自立した生活を送ることができるための看護支援について考えていきましょう。またケアの質の向上をめざした教育システムづくりに関心のある方は大歓迎です。
		大谷 恵 m.otani.t@ikc.ac.jp	精神看護学教育・技術に関連した研究、メンタルヘルス支援を要する患者とその家族を対象とした実践的介入研究
		メッセージ	人がその人らしく生きていくために、心の健康は重要です。人の心や行動に目を向けながら、精神障害をもつ人やご家族への支援、さまざまな場で生活する人々の心の健康について一緒に考えていきましょう。
		松山 旭 a.matsuyama.t@ikc.ac.jp	認知症高齢者看護の教育方法と教材開発研究
	メッセージ	認知症高齢者への理解を深める看護教育を探究します。VRやAIを活用した教育方法と教材の開発に取り組み、多角的に考える力を育みます。ともに学びを深め、認知症への理解を広げていきましょう。	
	がん療養生活支援看護学 専門看護師（がん看護 CNS）育成 がん治療を受けている患者とその家族への包括的支援のあり方を探究する。また、緩和ケアにおける様々なアプローチ方法の課題を探究する。	安藤 詳子 s.ando.t@ikc.ac.jp	がん患者と家族・がんサバイバーへの支援に関する研究、がん医療に携わる看護職の実践や教育に関する研究
		メッセージ	治療選択と意思決定支援、がん治療における支援、症状マネジメント、トータルペインとアプローチ、家族ケアなど、実践の中で抱く疑問や課題を研きましょう。また、是非、がん看護 CNS に挑戦しましょう。
		牧野 智恵 t.makino.t@ikc.ac.jp	がん患者やその家族の苦悩の世界、スピリチュアルペインに関する研究
		メッセージ	がんになったこと自体は辛く悲しいことですが、その苦悩に対してどういう態度をとることでその人の苦悩が業績にもなることを学んでいきましょう。そう考えることで看護も楽しくなることでしょう。

分野	専攻領域	研究指導教員・連絡先	主な研究テーマ
地域生活創成看護	<p>がん療養生活支援看護学 専門看護師（がん看護 CNS）育成</p> <p>がん治療を受けている患者とその家族への包括的支援のあり方を探究する。また、緩和ケアにおける様々なアプローチ方法の課題を探究する。</p>	<p>松井 優子 y.matsui.t@ikc.ac.jp</p>	<p>がん患者の治療による外見の変化をはじめとする生活上の課題解決に関する研究</p>
		<p>メッセージ</p>	<p>がん経験者が社会の一員としていきいきと活躍できる互助的な社会をめざし、スキンケアや看護理工学の知を活用した研究に取り組んでいます。研究を通して、次世代へつなげる看護の感性をともに磨いていきましょう。</p>
		<p>岩井 美世子 m.iwai.t@ikc.ac.jp</p>	<p>がん患者の治療後の QOL 向上を目指した支援システムの構築に関する研究</p>
		<p>メッセージ</p>	<p>がん患者とその家族への支援を大学院でより深く学びながら、自分の看護観を生かして研究をする面白さ、そしてその成果が現場の看護をよりよく変えていける、そう思い描くことの楽しさを一緒に味わいましょう。</p>

育成する人材像・3つのポリシー

育成する人材像

看護教育・研究者として自立して研究活動に取り組み、変化し続ける地域社会のニーズに保健師・訪問看護師・在宅クリニックの医師など多職種と協働して対応し、包括的な看護方法を開発して、高い倫理性と豊かな人間性を持って看護学の発展に寄与することができる人材

3つのポリシー

【アドミッション・ポリシー：AP（入学者受入れ方針）】

本研究科は、DP・CPの内容を踏まえ、以下の能力や関心・態度を身につけている者を受け入れる。

1. 看護学研究に必要な基本的な量的および質的分析力を有し、自立して創造的に研究に取り組む意欲を有する人
2. 地域社会の中で起こることに課題意識や関心を持ち、主体的に探究できる人
3. 高い倫理性と豊かな人間性を持ち、真摯に看護学の発展に貢献する姿勢を有する人

【ディプロマ・ポリシー：DP（学位授与方針）】

本研究科は、修了に必要な単位を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格し、育成する人材像を基に、以下の能力を身につけた者に博士（看護学）の学位を授与する。

1. 科学的根拠に基づいた分析方法を用いて看護学研究に取り組む能力を有する
2. 変化し続ける地域社会のニーズに多職種と協働して対応し包括的な看護方法の開発を目指す研究を自立して創造的に取り組む能力を有する
3. 高い倫理性と豊かな人間性を持って取り組む態度を有する

【カリキュラム・ポリシー：CP（カリキュラム編成方針）】

本研究科は、DPに掲げた能力を身につけるため、以下の方針に基づき、カリキュラムを編成する。

〈教育課程編成方針〉

専門性の基礎となる基盤科目「看護科学研究論」を1年次前期に配置し、専門科目の「地域創成ケアシステム特論」「地域生活創成看護特論」を1年次前期に配置する。研究科目の「看護学特別研究」を通年で1年次・2年次・3年次と順次、研究を計画して遂行し総括するように配置する。

1. 「基盤科目」では、看護学の学術的発展を推進し、かつ科学的根拠に基づいた研究方法を習熟するために「看護科学研究論」を配置する
2. 「専門科目」では、変化し続ける地域社会のニーズに多職種と協働して対応し、地域を発展的に創成できるケアシステム構築を学修する「地域創成ケアシステム特論」と、医療施設から地域まで多職種と協働して対応し、包括的に人々の健康生活を支援する看護方法の開発を学修する「地域生活創成看護特論」を配置する
3. 「研究科目」では、高い倫理性と豊かな人間性を持って粘り強く真摯に取り組む、新しいエビデンスを創造できる高度な研究能力を獲得するために「看護学特別研究」を配置する

入学定員・出願資格

1. 教育研究分野・領域及び入学人員

分野	領域	入学定員
地域創成ケアシステム	看護マネジメント学	2名
	看護科学	
地域生活創成看護	次世代育成看護学	
	急性・療養生活支援看護学	
	メンタルヘルス支援看護学	
	がん療養生活支援看護学	

2. 出願資格

次の1)～8)のいずれかに該当し、かつ9)を満たしている者

- 1) 本学大学院若しくは他の大学院で修士の学位又は専門職学位を授与された者及び入学時までに取得見込みの者
- 2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学時までに取得見込みの者
- 3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学時までに取得見込みの者
- 4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学時までに取得見込みの者
- 5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総合決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び入学時までに取得見込みの者
- 6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- 7) 文部科学大臣の指定した者
- 8) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時までに24歳以上の者
- 9) 看護師資格を有する者又は入学時までに看護師資格取得見込みの者



出願手続・出願書類

1. 出願書類

本学ホームページから、「入学検定料振込用紙」及び様式1～3をダウンロードして、書類を作成してください。

出願書類の種類	提出書類及び作成要領	
① 入学志願票・ 受験票・写真票 (様式1)	出願期間に「入学検定料振込用紙」またはインターネットバンキングで検定料を支払い、両面印刷した様式1の裏面にB票を貼付のうえ、表面に必要事項を記入してください。 写真2枚(タテ4cm×ヨコ3cm、3ヶ月以内に撮影、正面、無帽)を用意し、写真の裏面に氏名を記入のうえ、入学志願票及び受験票に貼付してください。	
② 履歴書(様式2)	本学ホームページから様式をダウンロードして作成してください。	
③ 志望理由書(様式3)		
④ 証明書 ※選抜区分・出願資格によって、必要書類が異なります ※出願資格については、p.18参照	出願資格1)の場合	大学院の修了証明書(学位記の写し(A4判)でも可)又は修了見込み証明書及び成績証明書
	出願資格2)～5)の場合	最終教育機関の修了証明書(学位記の写し(A4判)でも可)又は修了見込み証明書及び成績証明書
	出願資格6)の場合	ア 既に学位授与機構から学位を授与された者：学位授与証明書及び学位授与の対象となった専攻に係る授業科目の単位認定を行った機関の単位修得証明書
		イ 既に学位授与機構に対して認定修了を申請している者：学位授与申請受理証明書並びに学位授与の対象となる専攻に係る授業科目の単位認定を行った機関の単位修得証明書
	出願資格7)の場合	入試広報係へお問い合わせください
出願資格8)の場合	本学の「出願資格認定書」の写し	
⑤ 看護師免許の写し	A4判に縮小してください。看護師国家試験受験予定者は提出不要です。	
⑥ 受験票返信用切手	410円分の切手(定形110円+速達300円)	

- ※ 様式への記載には、温度変化等で消えないボールペン等を使用してください。
- ※ 証明書等と現在の氏名や性別が異なっている場合は、戸籍一部事項証明書または戸籍抄本を添付してください。
- ※ 出願資格審査時に本学へ提出済の書類については、再度提出する必要はありません。
- ※ 出願書類に不備がある場合は、受付後であってもこれを受理しません。
- ※ 出願書類に虚偽の記載がある場合は、出願許可の後でもこれを取り消します。
- ※ 提出した書類は、いかなる事由があっても返還しません。

2. 出願手続

出願書類を一括して、出願期間内に速達簡易書留郵便にて郵送又は本学事務局窓口へ持参してください。

選抜時期	出 願 期 間
1期	令和8年 9月 1日(火)～令和8年 9月17日(木)
2期	令和8年11月30日(月)～令和8年12月 7日(月)
3期	令和9年 2月15日(月)～令和9年 3月 1日(月)

- ※ 出願期間内に出願を完了しない場合は、受験する権利を失います。
- ※ 一度納付した検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ※ 郵送の場合は、レターパックプラスまたは速達簡易書留郵便にて、表面に「大学院出願書類」と明記してください。
- ※ 出願期間最終日に発送する場合は、郵便局窓口にて「引受消印」を押してもらおうよう、申し出てください。
- ※ 持参の場合は、本要項の裏表紙【郵送・提出窓口及び問い合わせ先】の窓口時間内に持参してください。

3. 入学検定料

30,000円

■金融機関窓口で振り込む場合

- ・本学ホームページから「入学検定料振込用紙(博士後期課程)」をダウンロードして必要事項を記入し、検定料を添えて金融機関窓口(ATMは不可)で納付してください。納付した際に受け取ったB票・C票のうちB票を、様式1「入学志願票」の裏面にはがれないように貼付してください。

■インターネットバンキングを利用して振り込む場合

- ・本学ホームページから「入学検定料振込用紙(博士後期課程)」をダウンロードして、「願書貼付用B票」に必要事項を記入し、入学志願票裏面に貼付してください。
- ・振込用紙記載の口座宛に、振込依頼人名を「D 受験者氏名」(記入例：D 伊ノミヤヅミ)に変更して、納付してください。
- ・振込完了画面のスクリーンショットをA4用紙に印刷し、入学志願票とともに提出してください。

※一度納付された検定料は、いかなる事由があっても返還しません。

※本学事務局窓口で検定料の納付はできません。

4. 出願に際しての事前相談

出願を希望する方は、必ず希望する領域の担当教員に連絡をとり、入学後の研究及び履修について『事前相談』を行ってください。

電話・E-mailでの相談も可能です。お気軽にお問い合わせください。

(参照：p.26 領域の概要及び研究指導教員一覧)

■身体に障がい等を有する入学志願者との事前相談

障がい等を有する等、受験上及び就学上の配慮を要する場合は、出願前に必ず本学入試広報係にご連絡ください。

なお、この相談が合否判定に影響することは一切ありません。

相談の時期：出願期間最終日の2週間前まで

出願資格審査 (出願資格 8)により出願する場合)

1. 出願資格審査申請

出願資格 8) により出願する場合は、出願資格審査期間内に出願資格審査を申請する必要があります。出願資格審査において本学が「出願資格あり」と認定した場合にのみ、出願することができます。

選抜時期	出願資格審査受付期間
1期	令和8年 8月17日(月)～令和8年 8月24日(月)
2期	令和8年10月30日(金)～令和8年11月 6日(金)
3期	令和9年 1月12日(火)～令和9年 1月25日(月)

2. 出願資格審査の申請要件

下記①又は②要件を満たし、さらに③～④のいずれかに該当する者が出願資格審査の対象となります。

- ① 短期大学・専修学校又は各種学校を卒業し、看護師の資格を有し、5年以上の実務経験があること
- ② 大学を卒業し、看護師の資格を有し、2年以上の実務経験があること
- ③ 研究業績(学術誌や専門誌等での論文掲載・学会発表等)を有している
- ④ 厚生労働省、看護協会、都道府県など又はそれと同等の機関による6か月以上の研修を修了している

3. 提出書類

	提出書類の種類
必須	出願資格審査申請書(様式6)※
	大学・短期大学又は専修学校等の卒業証明書 (学位記の写し(A4判)でも可)
上記③該当者	発表論文等のコピー
上記④該当者	各機関が発行する研修修了の証明書の写し

※ 本学ホームページから様式をダウンロードして作成してください。

様式ダウンロード



4. 審査方法及び審査結果

提出された書類により審査を行い、結果は郵送で通知します。出願資格が認められた場合は、出願資格認定書を送付します。

5. 申請手続き

3の提出書類を一括して、本学入試広報係宛に郵送（簡易書留郵便又はレターパックプラス）又は事務局窓口へ提出してください（封筒の表面に「出願資格審査書類」と朱書きしてください）。

※ 申請書類に不備がある場合は、受付後であっても、これを受理しません。

※ 提出した書類は、いかなる事由があっても返還しません。

選抜方法・試験日

1. 入学者選抜方法

入学者選抜は以下の方法で行い、合格者を決定します。

	英 語	面 接
一般選抜	100点	100点

※辞書の持ち込みは可とする。ただし、電子辞書は不可とする。

2. 入学者選抜日程

選抜時期	項目	試験日	試験会場
1期	選抜試験日	令和8年 9月 26日(土)	本学
	合格発表	令和8年 10月 2日(金) 10:00	
2期	選抜試験日	令和8年 12月 12日(土)	
	合格発表	令和8年 12月 17日(木) 10:00	
3期	選抜試験日	令和9年 3月 6日(土)	
	合格発表	令和9年 3月 9日(火) 10:00	

※合格者の定員充足状況により、2期以降に募集しない分野・領域がある場合があります。

その場合は、本学大学院ホームページでお知らせします。

3. 選抜当日のタイムテーブル

時 間	科 目
8:40 ~ 9:00	オリエンテーション
9:00 ~ 10:00	英 語
10:30 ~	面 接

合格発表・入学手続

1. 合格発表

合格者には、合格通知書を送付します。

本学ホームページでも合格者の受験番号を確認できますが、合格通知書をもって正式な合格の通知とします。

※ 本学での掲示発表は行いません。

※ 電話等による合否結果に関する問い合わせには、一切応じません。

2. 入学手続

合格者には合格通知書とともに入学手続要項を送付します。確認のうえ、以下の入学手続き期限までに入学金及び前期学納金を払い込み、入学手続きを済ませてください。

選 抜 時 期	学 納 金 納 入 期 限
1 期	令和 8 年 10 月 13 日 (火) 16 : 00
2 期	令和 8 年 12 月 23 日 (水) 16 : 00
3 期	令和 9 年 3 月 16 日 (火) 16 : 00

※ 入学手続期限までに入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を失います。

※ 一度納付した入学金は、いかなる理由があっても返還しません。

※ 書類を郵送する場合、入学手続期限の消印有効とします。

3. 入学前オリエンテーション

入学予定者に対して、以下の日程で入学前オリエンテーションを開催します。

開 催 日	令和 9 年 3 月 12 日 (金) 13 : 00 開始
-------	----------------------------------

4. 入学後の予定

日 程	行 事
4 月 2 日 (金)	入学式 10 : 00 ~ 11 : 00
	ガイダンス 11 : 00 ~ 13 : 00
4 月 6 日 (火)	健康診断 13 : 00 ~ 16 : 00 < 該当者のみ >
4 月 8 日 (木) ~	前期授業開始 開講日は主研究指導教員と相談のうえ決定します。

※ 4 月の土曜開講予定 : 4 月 10 日、17 日 7 月中頃までほぼ隔週継続開講予定

※ 詳細は、入学前オリエンテーションにてお知らせします。

学納金の納入

1. 学納金

区分	1年次		2年次		3年次	
	前期授業料等 (入学手続時納入)	後期 授業料等	前期 授業料等	後期 授業料等	前期 授業料等	後期 授業料等
入学金	100,000円					
授業料	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円
合計	500,000円	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円
3年間合計	2,500,000円					

長期履修（4年間）の場合の学納金

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期 (入学手続時納入)	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
入学金	100,000円							
授業料	400,000円	400,000円	300,000円	300,000円	250,000円	250,000円	250,000円	250,000円
合計	500,000円	400,000円	300,000円	300,000円	250,000円	250,000円	250,000円	250,000円
4年間合計	2,500,000円							

2. 学納金に関する留意事項

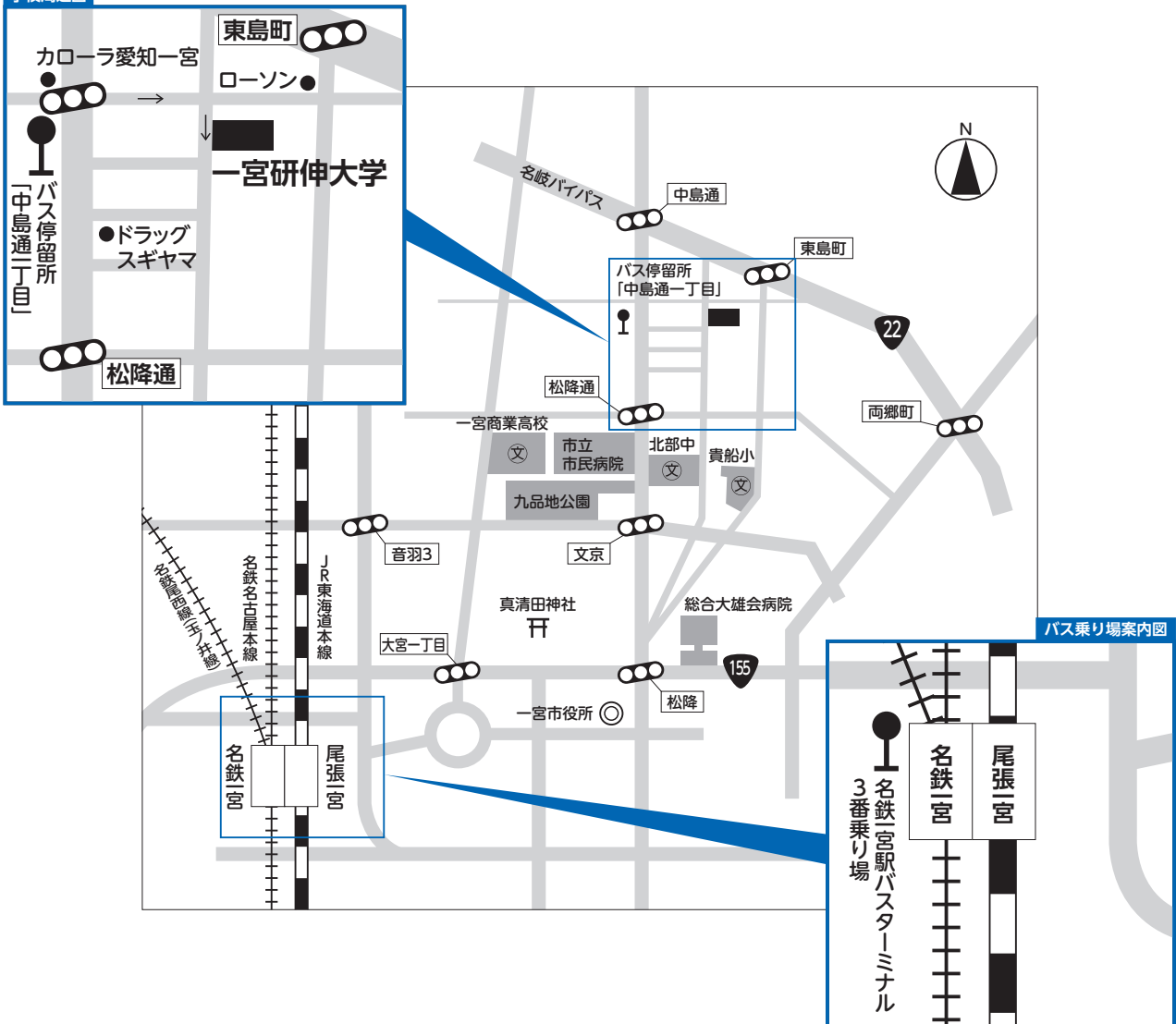
以下の場合について、博士後期課程に入学する場合は、入学金を全額免除します。
 大雄会一宮看護専門学校、愛知きわみ看護短期大学及び一宮研伸大学の卒業生、
 一宮研伸大学大学院修士課程の修了生

領域の概要及び研究指導教員一覧

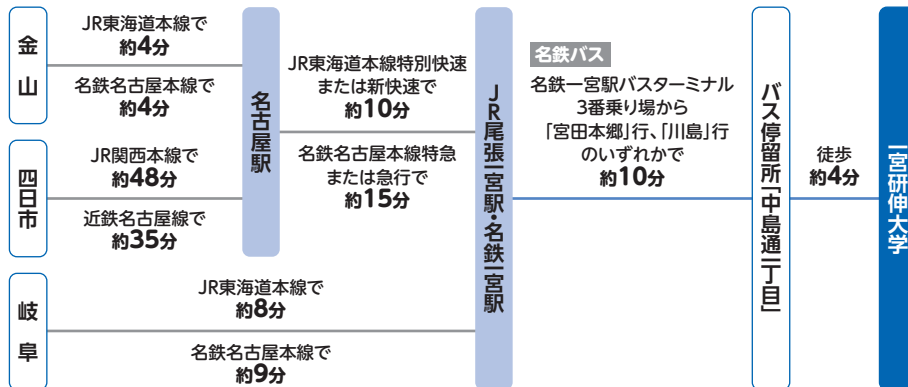
分野	専攻領域	研究指導教員・連絡先
地域創成ケアシステム	看護マネジメント学 組織の構築、他組織と連携・協働するための看護理念の具現化の探求、及び人材フローのマネジメントと労働環境について考察し、地域とともに価値を創成する組織の在り方を探究する。	大久保 清子 k.ohkubo.t@ikc.ac.jp
		西谷 直子 n.nishitani.t@ikc.ac.jp
看護科学	主に①卓越した看護アセスメントの技術開発、②科学的・論理的根拠に基づく看護ケアに関する教育プログラムの開発・検証等について探求する。	石井 成郎 n.ishii.t@ikc.ac.jp
		櫻井 武 t.sakurai.t@ikc.ac.jp
地域生活創成看護	次世代育成看護学 主に①性と生殖に関わる保健、周産期の家族の健康、親子・家族関係の支援における課題、②子どもと子を産み育てる家族のもつ主要な健康問題等について、有効な看護支援方法論を探究する。	吉川 史隆 f.kikkawa.t@ikc.ac.jp
	急性・療養生活支援看護学 急性・慢性の健康課題を有する人と家族への療養生活支援の在り方や必要な看護、課題について探究する。	東野 督子 t.higashino.t@ikc.ac.jp
	メンタルヘルス支援看護学 地域に暮らす認知症高齢者と家族へのケアマネジメントのあり方、及びメンタルヘルスに問題を抱える人を支援するためのヘルスケアシステムの現状や地域特有の課題を探究する。	野村 千文 c.nomura.t@ikc.ac.jp
		江本 厚子 a.emoto.t@ikc.ac.jp
がん療養生活支援看護学 がん治療を受けている患者とその家族への包括的支援のあり方を探究する。また、緩和ケアにおける様々なアプローチ方法の課題を探究する。	榊原 久孝 h.sakakibara.t@ikc.ac.jp	
	安藤 詳子 s.ando.t@ikc.ac.jp	
	牧野 智恵 t.makino.t@ikc.ac.jp	
		松井 優子 y.matsui.t@ikc.ac.jp

試験会場のご案内

学校周辺図



アクセス



【郵送・提出窓口及び問い合わせ先】

住 所 〒 491-0063
愛知県一宮市常願通五丁目 4 番 1
一宮研伸大学 入試広報係

電 話 0586-28-8110

E-mail nyushi@ikc.ac.jp

窓口時間 9:00-16:00 (土日祝・創立記念日 12月 1日を除く)
